

第 121 回・日商簿記検定試験 2 級 第 1 問 仕訳問題類題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	受取手形	売掛金
売買目的有価証券	未収金	前払金	仮払金
保管有価証券	備品	貯蔵品	保証債務
支払手形	買掛金	未払金	借入金
前受金	仮受金	未払配当金	備品減価償却累計額
保証債務見返	資本金	資本準備金	利益準備金
新築積立金	繰越利益剰余金	有価証券売却益	支払利息
有価証券売却損	固定資産売却益	固定資産売却損	固定資産除却損
本店	仙台支店	神戸支店	

1. 三木谷商事株式会社の本店は、神戸支店から仙台支店へ現金 200,000 円を送金した旨の通知を受け取った。なお、同社は本店集中計算制度を採用している。
2. 当期中に 3 回に分けて取得した同一銘柄の売買目的有価証券 500 株のうち 300 株を 1 株 5,850 円で売却した。なお、代金は当座預金口座に振り込まれた。この有価証券は、第 1 回目は 200 株を 1 株 5,600 円で、第 2 回目は 200 株を 1 株 6,000 円で、第 3 回目は 100 株を 1 株 5,400 円で、それぞれ買い付けている。同社は平均法で売買目的有価証券の記帳処理をしている。
3. 平成 20 年 6 月 25 日に開催された株主総会で、以下のように繰越利益剰余金の処分が行われた。なお、同社の資本金は 20,000,000 円であり、資本準備金は 4,000,000 円、利益準備金は 800,000 円がそれぞれ既に積み立てられている。

■配当金：3,000,000 円

■新築積立金：1,000,000 円

■利益準備金：会社法の定める必要額

4. 債務保証をしていた取引先が、期日に 6,000,000 円の借入金の返済が不能となり、債権者から利息 400,000 円を含めて返済を求められたので、小切手を振り出して支払った。なお、同社は保証債務については対照勘定を用いて備忘記録をしている。
5. 使用中の備品 600,000 円（減価償却累計額 350,000 円、間接法）を期首除却した。その備品の処分価値は 150,000 円と見積もられた。